

2014年4月15日
株式会社損害保険ジャパン
日本興亜損害保険株式会社

自動車運転者向けアプリ「Safety Sight」に新機能を追加 ～運転中の急操作や安全運転診断状況を音声でリアルタイムにお知らせ～

株式会社損害保険ジャパン（社長：櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）および日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也、以下「日本興亜損保」）は、自動車運転者向けスマートフォンアプリ「Safety Sight（セーフティサイト）」の安全運転支援機能を新たに追加し、本日から提供を開始しました。

安全運転を促す機能を拡充し、スマートフォンが急操作を検知すると即座に音声で通知する機能のほか、走行中の安全運転診断状況を得点表示し、得点のアップ・ダウンを音でお知らせする機能も新たに追加しています。また、道路上の白線等を認識する白線認識技術を新たに採用し、アプリの精度向上を図りました。

損保ジャパンと日本興亜損保は、「お客さま評価日本一/No. 1」の実現を目指して、今後も、安心・安全につながる高品質な商品、新たな技術を活用したサービスの提供に努めていきます。

1. 機能追加の背景

損保ジャパンと日本興亜損保では、手軽な事故防止対策に関するお客さまニーズの高まりを受けて、2012年8月からスマートフォンアプリ「Safety Sight」の提供を開始しており、これまでに19万件を超えるダウンロードをいただいています。

このたび、自動車事故防止機能の一層の強化を通じて、お客さまによりご安心いただくことを目的として、安全運転を促す機能を拡充することにいたしました。

2. 新機能の概要

(1) 提供開始日

2014年4月15日

(2) 提供対象者

スマートフォン（iPhone、Android（※1））ご利用のお客さま

損保ジャパン、日本興亜損保のご契約者以外の方も無料でご利用いただけます。

（※1）機種によってはご利用いただけない場合があります。対象機種については、アプリダウンロードページにてご確認ください。

(3) 入手方法

Apple社「App Store」、Google社「Google Play」からアプリをダウンロードいただけます。

(4) 新機能

新たな機能は以下のとおりです。

既存の機能については別紙をご参照ください。

名称	概要
急操作アラート通知 業界初	走行中に急操作（急アクセル・急ブレーキ・急ハンドル）を検知すると、音声と画面表示でお知らせします。なお、音声は急アクセル・急ブレーキ・急ハンドルの何を検知したかにより異なるメッセージを通知します。
運転スコア通知 業界初	走行中の運転スコアとそのアップ・ダウンを効果音（アップ時・ダウン時で異なります）と画面表示でお知らせします。 運転スコアは、走行距離 1km 経過時から表示します。
走行時間経過お知らせ 業界初	走行開始から 1 時間経過ごとに音声でお知らせし、ドライバーに休憩取得を促します。
走行距離経過お知らせ 業界初	走行開始から 100km 経過ごとに音声でお知らせします。

- * 今回から、株式会社カーメイト（社長：村田隆昭、URL <http://www.carmate.co.jp/>）の開発した「白線認識技術」を新たに採用しています。道路上の白線等をスマートフォンのカメラが認識すると、白線等を画面上に表示し、隣車線の車両の誤認防止を図り、前方車両検知の精度をより向上しています。
- * ご利用にはスマートフォンをダッシュボードなどに固定する設置ホルダー（クレイドル）が必要です。

(5) 画面イメージ



以上

別紙

Safety Sightの現行機能

名称	概要
・前方車両接近アラート ^(※) ・前方車両発進お知らせ ^(※)	運転中の前方映像の解析（形状、大きさ等）により、スマートフォンが前方車両との車間距離を認識し、前方車両の接近時や発進時に音声でお知らせします。
交通標語通知機能	アプリ起動時にGPSで現在地を判定し、その地域の交通標語を音声で通知します。
安全運転診断 ^(※)	運転中にスマートフォンが感知した揺れや位置情報、前方映像の解析により、速度・急アクセル・急ブレーキ・車間距離等のデータを検知し、安全運転診断を実施します。
走行履歴 ^(※)	走行したコースの地図や距離、時間、速度、急ブレーキ地点などの履歴を確認できます。
ドライブレコーダー ^(※)	運転中にスマートフォンが急ブレーキや衝突などの衝撃を感知した際に、衝撃の前後十秒、前方の映像を自動的に録画・保存します。録画後は警察や救急の連絡先および損保ジャパン、日本興亜損保の事故連絡先が表示されます。また、任意に録画することも可能です。
トラブル解決術	ガス欠やパンク、バッテリー上がりなど、自動車に関するトラブルの対処法を専門家がわかりやすく解説します。
トラブラナイザー	アプリ起動・終了時に周辺の施設（空港、高速 SA・PA、道の駅、ゴルフ場など）に関連するトラブル解決術を通知します。

^(※) 「前方車両接近アラート・前方車両発進お知らせ」「安全運転診断」「走行履歴」「ドライブレコーダー」は株式会社カーメイト（社長：村田隆昭、URL <http://www.carmate.co.jp/>）の技術協力により開発した機能です。